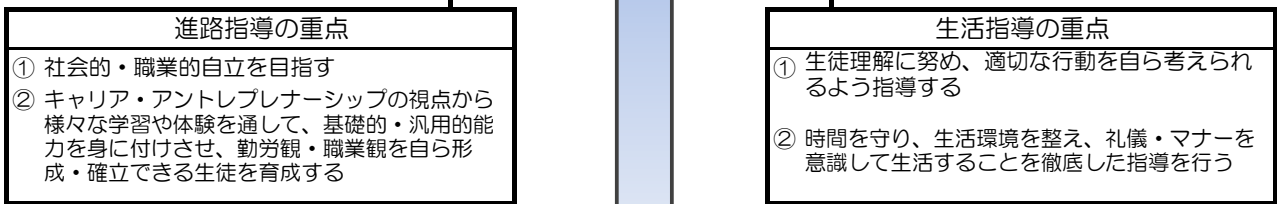
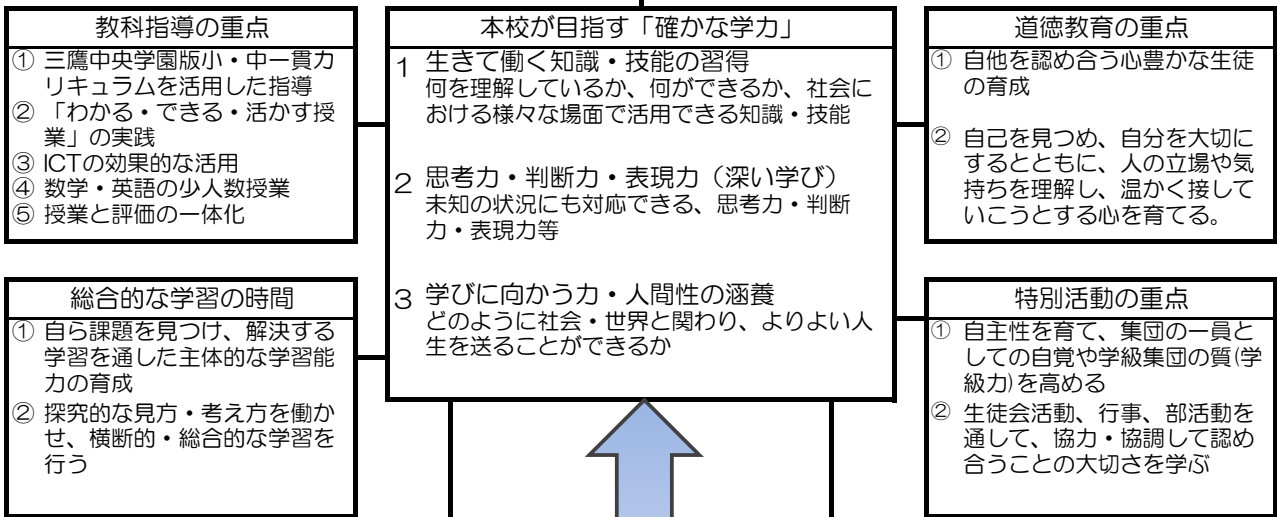
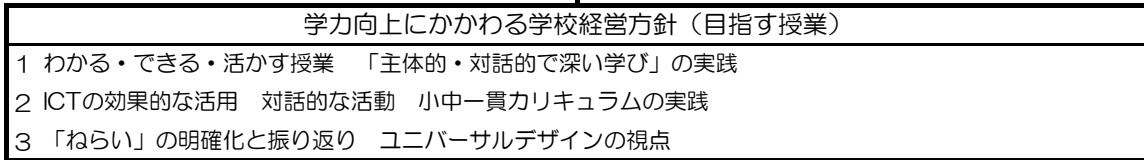
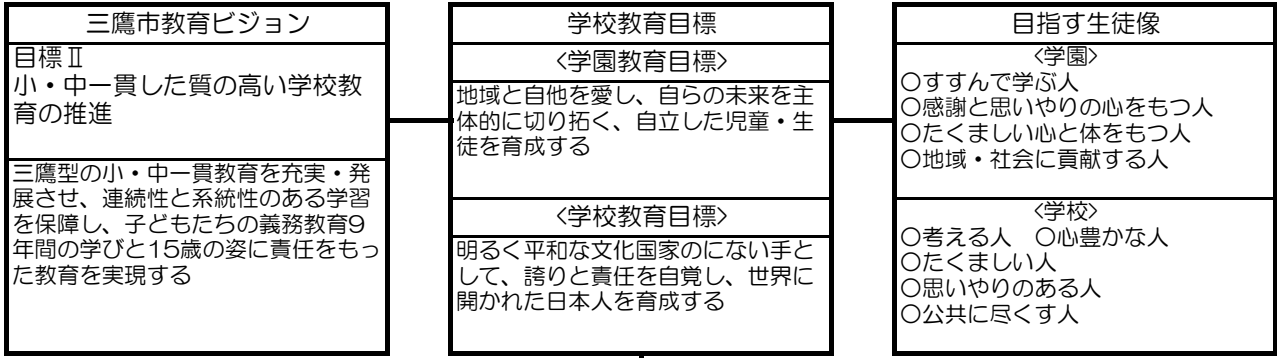


# 令和5年度 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 全教科で年度当初にガイダンス資料を配布することにより、学習の進め方・学習上の注意・学習内容と身に付けたい力を明らかにする</li> <li>② 毎時間、授業のねらいを明示し、振り返りを行う</li> <li>③ 積極的にグループでの話し合い活動等を取り入れ、生徒主体の授業を行う</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 各教科等の目標を達成するために、年間授業時数を確保する</li> <li>② 個別最適な学びの実現に向けて、ICT・学習タブレットの活用を各教科の年間指導計画に位置付ける</li> <li>③ 防災教育等において地域人材や地域教材を活用した活動を取り入れる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 2年間の研究協力校として学園で年3回の提案授業を行い、小・中の教師が学び合う</li> <li>② 研究主題の充実に向けて全教員が日常的な研究を行うことにより、指導技術の向上を目指す</li> <li>③ 外部研修に参加して知識を習得し、習得した知識を実践に生かす</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 通知表の補助資料により観点ごとの評価内容と主な評価方法を明示し、評価の精度を高める</li> <li>② 各教科による生徒の授業評価や、CS委員会による保護者の学校評価を活用する</li> <li>③ 到達目標「評価規準」の点検・改善を行う</li> <li>④ 授業と評価の一体化を図る</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 「中央学園スマイルアクションプラン！」を新たに策定し、子どもが家庭学習に集中できるような環境をつくる</li> <li>② 放課後や長期休業中に子どもたちが挑戦できる検定（漢検・英検・数検）を実施する</li> <li>③ 「マイスタディ」による補充学習を行う</li> </ol>
<p>学習内容の要点を自分自身で考えながら学習に取り組ませる</p>		<p>学園研究の目指す方向性を全教員が明確にし、それを解決するための指導法を確立する</p>		<p>家庭学習の進め方を指導し、習慣として定着させる</p>